



知基第180号
令和3年8月6日

外務省特命全権大使（沖縄担当）
橋本 尚文 殿

沖縄県知事 玉城 デニー



在沖米空軍軍属による強制性交等未遂事件について（抗議）

令和3年4月17日午前5時50分頃、沖縄本島中部の路上において強制性交等未遂事件が発生し、7月30日、在沖米空軍軍属が被疑者として検挙されました。

同被疑者は、面識のない被害者に対し強制的に性交等をしようとしたところ、被害者に抵抗されたため未遂となったものであります。また、同月15日には、捜査のために訪れた警察官に対する公務執行妨害容疑でも検挙されております。

このような非人間的で卑劣な犯罪は、基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている県民に強い不安を与えるだけでなく、女性の人権を蹂躪するものであり、断じて許せるものではなく強い怒りを覚えるものであります。

これまで、今年1月に発生した那覇市における強制わいせつ事件など、米軍関係者による事件・事故が発生する度に県などが抗議要請を行っているにもかかわらず、このような事件が発生したことは、在沖米軍の教育や管理体制が不十分であると言わざるを得ません。

ついては、このような事件が二度と起きないように、下記の事項について強く要請します。

記

- 1 軍属を含めた在沖米軍の教育や管理を徹底し、より実効性のある再発防止策を早急に講ずるとともに、その内容を県民に公表するよう米軍に働きかけること。
- 2 日米地位協定の対象者である軍属等に対してもリバティ制度を適用するよう米軍に働きかけること。
- 3 被害者への謝罪とともに、県警察による捜査への協力に万全を期すよう米軍に働きかけること。
- 4 被害者に対する適切な補償を米軍と連携して遅滞なく実施すること。
- 5 平成29年4月以降開催されていない「米軍人・軍属等による事件・事故防止のための協力ワーキングチーム（CWT）」を速やかに開催すること。